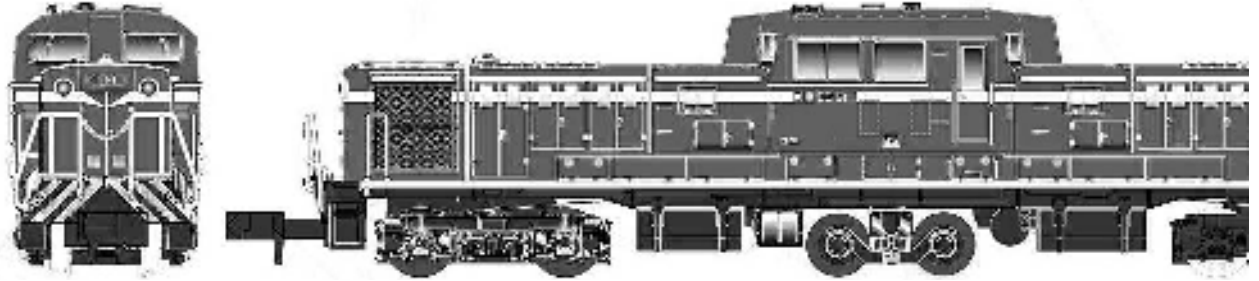
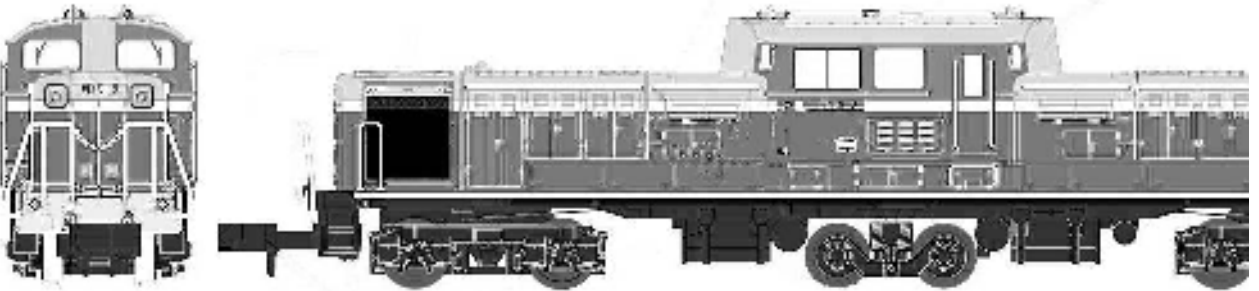


A8500 DD51-1 茶色・登場時	予価:6,400円(税別) JANコード:111475 カートン内入数:24
A8502 DD51-1 標準色・秋田機関区	予価:6,400円(税別) JANコード:111499 カートン内入数:24
A8529 DD51-3・燃料タンク増設・標準色	予価:6,400円(税別) JANコード:120248 カートン内入数:24

A8500



A8529



商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 単品プラケース入り)
実車	<p>現在も活躍を続ける亶幹線用ディーゼル機関車DD51型の試作車1号機と量産先行車2~4号機は、以後の量産車に比べ形態や走り装置が大きく異なっておりました。</p> <p>1号機は1962(昭和37)年に製造され、丸みを帯びた運転室と、丸く飛び出したヘッドライトが量産車とは異なっています。登場当初は茶色に白帯の塗装でしたが、後に量産車同様のオレンジ・グレーをベースに白帯の塗装に変更されました。</p> <p>3号機は量産先行車のうちの1両で、1963(昭和38)年に製造されました。運転室にヒサシが設置され、ヘッドライト形状が埋め込み型に変更されたのが特徴です。登場時よりオレンジ・グレーに白帯の「標準色」でしたが、前面ナンバープレート部分の塗り分けが20号機以降とは異なりました。また、中間台車のバネ圧が可変式となり、軸重を調整して最適な牽引力を発揮できる様に改良されています。</p>
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース ディーゼル機関車シリーズの更なる充実。 ・2種のDD51-1は、丸みを帯びたキャブ、丸形の飛び出たヘッドライトなどユニークな車体を再現。 ・DD51-3は丸みの少ないキャブ、1号機とは異なる台車、独特の塗り分け等の特徴を再現。 ・コイルバネ式中間台車TR101を装備。 ・各部手すりを別部品にて実感的に再現。 ・ヘッドライト点灯、LEDを採用。 ・フライホイール付き動力ユニット採用。
A8500	<ul style="list-style-type: none"> ・DD51-1の登場時、茶色時代を再現。 ・側面の白線や前面のV字帯、端梁のゼブラ模様等を美しく再現。 ・ボディ側面に増設燃料タンクが取り付けられる前の仕様。 ・台車の砂箱の数、ラジエーターカバー、ボディを実車に則して再現(A8502とは作り分け)。 ・前面窓は旋回窓の無いタイプ。
A8502	<ul style="list-style-type: none"> ・DD51-1の標準色時代を再現。 ・ボディ側面に増設燃料タンクが取り付けられルーバーが変更された後の仕様。 ・砂箱が増設された台車、形状が変化したラジエーターカバー、窓が埋められたキャブをA8500とは作り分け。 ・前面窓は旋回窓が付いたタイプ。スノープロウ取り付け済み。
A8529	<ul style="list-style-type: none"> ・量産先行車の3号機を再現。 ・朱色、グレーに白帯の標準色。前面の白線がストレートになっている特徴的な塗り分けを再現。 ・ボディ形状の他、燃料タンク、ステップ等を1号機とは作り分け。 ・重連非対応機ならではのあっさりした端梁をリアルに再現。
オプション	非対応
付属品	無し